



活躍するOB・OG

先代より代々続く江戸川放水路の老舗船宿、林遊船の四代目。

林 克樹さん

市川市立高谷中学校出身
十一期(平成十三年度卒)

エール

― 気高く、永遠に ―

校長
石井 航太郎



同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

先日、三井ガーデンホテル千葉にて開催された同窓会総会では、コロナ禍が続いてきた中でも立派に活躍されている卒業生に久々に会うことが出来て、とても嬉しかったです。

これからも、母校で培った「自己確立・自他共楽」の精神と「Challenge&Change」の姿勢を忘れず、健康に留意され、ご活躍されることをお祈りいたします。



先代より代々続く江戸川放水路の老舗船宿、林遊船。 四代目となる林遊船代表の林克樹さんにインタビューしました。

大きな声で挨拶することの大切さ

高校選びの際、少林寺拳法を正課にしていることに惹かれて入学を決意。少林寺拳法部へも迷わず入部しました。

先生方には勉強はもちろんのこと、挨拶や礼儀の指導を受けました。特に挨拶は大きな声ですることを教わり、その教えが今でも心の中に生きています。

社会ではしっかりと挨拶ができるだけで周囲から気に入られます。日々のお客様との会話のやり取りの中で挨拶の重要性を実感しています。おかげさまでお客様にも気に入られ、今では繁盛店といわれるまでになりました。

あの時の厳しい指導があったから今の自分がある

仕事は釣り客をもてなす船宿の代表です。普段は朝五時に起床し、五時半頃から業務に就きます。労働時間は一日十二時間ほど。主な業務は釣り船の操船で、三浦半島東南端の剣崎沖まで出るときには片道二・五時間ほど海上を走ります。大型のマグロからハゼまで様々な魚をお客様に楽しみながら釣っていたことが喜びです。その反面、どんなに辛いことがあっても逃げださなかつ



たのは、高校時代の部活の厳しい練習を通して身についた忍耐力があったからです。代表になつたばかりの頃は、自分の未熟さからスタッフとぶつかることもありました。その中で、部活を通して出会った少林寺拳法の教え「拳禅一如」の大切さを実感しました。拳は肉体を、禅は精神をあらわす。どちらも欠けてはならないという意味があり、バランスが大切であるということです。あらためてこの教えに立ち返り、自分がバランスの取れた人間になることで、スタッフも育つことに気づかされました。当時先生方がなぜ厳しく指導されたのか、その意味がようやくつかってきました。

現在、市川市漁業組合遊漁船部副会長として、組合の振興や河川の土手の清掃活動などに積極的に取り組んでいます。江戸川放水路はホンビノス貝等の貝類の豊かな漁場ですが、近年は食用のために採取した牡蠣の殻をそのまま遺棄することで、水辺で遊ぶ子供たちががをするといった問題が発生しています。このような社会問題の解決には地域の連携が不可欠です。そのために地元議員やボランティアの方々とは協力して改善に向けて真剣に取り組んでいます。次代へ美しい



これからのチャレンジ&チェンジ

「あとになって後悔するな」

環境を引き継ぐため、環境保全にもチャレンジしています。自分一人の活動に終わらせるのではなく、後進の育成にも力を注ぎ、多くの仲間とともに取り組んでいきたいと考えています。

あとになって後悔するな

在校生のみなさん、是非元気な挨拶を心がけてください。そして五体満足で命を授かったことに感謝し、親孝行してください。中学生のみなさん、私の母校は心身ともに礼儀や社会に出て必要となることを鍛えてくれる場所です。他校では決して教えてくれないことを教えてくれる場所です。

最後に、この年になつても先生方からいただいた言葉はしっかりと覚えていてください。「やるべきことは今やれ。後になつて後悔するな。明日ではなく、今を生きる大切さを教わりました。これからも桜林高校の卒業生としての誇りをもって、お客様に安心して釣りを楽しんでもらうことを念頭におき、日々精進してまいります。」



第二十二回 令和四年度 同窓会総会開催される

令和五年二月十一日(土)、三井ガーデンホテル千葉において同窓会総会が開催されました。

当日は同窓生三十六名が参加し、建国記念の日ということもあり、総会にさきがけて全員で国歌を斉唱しました。

総会は、岸本卓磨副会長(十期)の開会宣言にはじまり、つづく会長あいさつでは、櫻井一貴会長(十二期)から、参加者へ同窓会活動への理解と協力を一層深めてもらいたいとの呼びかけがありました。

その後の議事もつつがなく終了し、続いて行われた懇親会は、相談役の内藤久茂さん(二期生)による乾杯のあと、全員が和気あいあいとした雰囲気のもと、親交を深めました。

アトラクションでは、現役少林寺拳法部員による演武が披露され、今年度の活躍をたたえ褒賞金が贈呈されました。

久しぶりに出会った仲間とともに、高校時代の思い出話を花を咲かせ、最後には全員で校歌斉唱と万歳三唱をし、皆がふたたび会う機会を楽しみに、盛況のうち閉会となりました。

